

# 県立歴史館事業

文化財・生涯学習課

## 1 歴史館の使命

長野県立歴史館は、長野県に関する歴史遺産の収集・整理・保存・調査研究を通じて、それらを未来に引き継ぐ活動を市町村と連携して行い、県民が歴史を振り返り、将来を展望する場、楽しみ・憩い・交流する場を提供するとともに、地域に貢献する県内博物館・文書館の中核として、歴史教育の拠点を目指す。

## 2 歴史館の基本目標

- ・長野県民の歴史遺産を未来に継承するための取り組みを進める
- ・未来を映す歴史知識の泉、歴史学習の拠点としての役割を果たす
- ・楽しむ場・憩いの場・交流の場としての役割を果たす
- ・県内全域での活動を推進し、地域に貢献する活動を進める
- ・内博物館・文書館等の中核、歴史情報の拠点としての役割を充実させる

## 3 事業内容

歴史遺産の継承	県ゆかりの歴史的資料の積極的な収集	315万円
歴史学習の拠点	常設展示の見直し検討	—
	企画展の充実 夏季展「主張する古墳（仮）」 秋季展「信州やきもの紀行（仮）」 冬季展「和田英（仮）」	1,928万8千円
	新たな長野県史の編纂にむけた検討（現代史） ・検討委員会開催 ※新「長野県史」編さん検討事業（別掲） ・史料のデジタル化 ・県外流出文書の収集 ・史料の所在確認調査	235万1千円
	特定歴史公文書の収集・整理・収蔵及び利用請求への対応 ・須坂収蔵庫（旧須坂商業）の改修工事 ・特定歴史公文書の燻蒸	2億6,485万4千円
楽しむ場等	子どもを対象とした展示施設の検討	—
地域貢献	中南信地域の小中学校への「お出かけ歴史館」の開催	57万9千円
歴史情報の拠点	県内外博物館との連携	—
その他	歴史館管理運営費等	2億2,039万5千円
計		5億1,061万7千円

## 4 令和5年度予算額 5億1,061万7千円